

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	4			
	②	職員の配置数は適切であるか	4			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	1	2	1	
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	2	2		・現在は小さな職員集団なので業務改善に対する 意思疎通がスムーズだが、今後に向けては PDCA サイクルを確実に実行する組織的な標準化の取り 組みは重要だと認識している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	2	2		・今年度 6 月に開所し、保護者等向け評価表の 回収は初。集計結果を精査して、改善につなげて いく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	3	1		・HP にて公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	1		3	・受審はしていないが、自分が第三者評価調査者 であるため、第三者評価の視点からフィードバック している
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	3	1		・年間研修計画に基づく毎月のミーティングで、スタ ッフの資質向上の機会を設けている ・保育士資格取得応援講座を開催している ・初任者～管理職までの、研修プログラムを作成し ていきたい
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか	4			・所定のフォーマットで丁寧にインテーク・アセスメント を、主に面談で行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1	・Vineland- II、LDI-R を備えており、希望される 方に実施している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・アイデアを出し合ったり、日々の活動立案は、全ス タッフが関わって進めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	4			・利用者の意欲・自主性を引き出すと同時に、支 援目標に合うよう、細かな部分で常に変化を持た せている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	2	2		・課題自体は個々の利用者固有であるが、サービ ス提供時間の違いによって、「ねらい」「活動の内 容・深度」は変わる
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計 画を作成しているか	4			・能力・特性・興味関心・相性などを勘案した上 で、複数のグループで活動を進め、活動内容が 個々の支援に還元されることを意識している

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		・翌日の打ち合わせで、前日のレビューを行っている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・記録のポイントについて、スタッフ間で共有している ・個別のスケジュールシートに、自己評価・スタッフ評価の欄があり、記録につなげている

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・開所して3か月程であるため、まだ急な変更の必要性があるケースはないが、モニタリングは実施しており、必要に応じて考えていく
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1		・行っている。施設のコネクトとして、特に「社会性」「コミュニケーション能力」の伸長に力を入れている

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・サービス担当者会議を開催する相談支援事業所はほとんどない ・対応は最もケースに関わっているスタッフが参加している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			・学校との送迎時のやりとりや、ケースの打ち合わせ、時には保護者に同伴して懇談会・会議に出席するなど、今後とも連携に力を入れていきたい
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1		3	・該当ケースがない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1		3	・利用児童が、小学校高学年、中高生であるため、機会がない。ただ、保護者との面談では、成育歴等は必ずチェックしている ・必要性があるケースがない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		3	・現時点では該当ケースがなく、実績もない。ただし、今後は移行していくケースも増えていくと思われる、当事業所の特性として、いかに支援内容、利用者情報を就労（未来）につなげるかが使命だと認識している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		・市からの研修案内を受けており、参加申し込みをしている ・日本LD学会に所属しており、最新の知見を得られるよう努めている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	・広く社会・地域の中で人と関わり活動する機会（施設外活動）は多い。ただし、「障害のない子どもと活動する機会」は意識して設定していない

	⑳ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4			・区の放デイ事業所が参加する部会と、相談支援事業所や社協のメンバーからなる部会の2つに参加している
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		・送迎時などに、意識的に行っている。他にも定期的な面談の機会なども有意義に利用したい
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		・プログラムとしては実施していない。CSPのトレーナー資格は持っているため、CSPの考え方などに基づいた助言は行っている
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・契約時に行っている。H30年度から変更があった点(利用者負担)についても、新基準で説明している
	㉔ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・定期的な面談以外にも、保護者からの依頼を受けて面談の機会を設けることも多い ・保護者との協働の重要性を強く認識している。見学時の紹介用パワーポイントでも伝えている ・待つばかりではなく、スタッフ側から働きかけていく必要性も感じている
	㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3		・保護者向けの勉強会を開催している(H30年度は、医師との談会1回、LD/ADHD心理的疑似体験プログラム3回、わが子の学習について共有する勉強会が1回) ・積極的な支援ではないが、保護者同士が集う場を設け、間接的な支援はしている
	㉖ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・重説にて、苦情解決の仕組みを周知している
	㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1	・発信が全体的に弱い
	㉘ 個人情報に十分注意しているか	4			
	㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		・子どもに対しては、日々の声かけや関りから、教育的支援について、どの程度伝わっているのかについては、スタッフ間で確認合っている
	㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		・夏祭りでは、施設を1日カフェとして開放し、自由に参加できるようにした
非常時等	㉛ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1	・災害時の避難計画や連絡体制は整備されているが、そのほかの緊急時、防犯、感染症については、ノウハウの共有はあっても、マニュアル化はされておらず、早急に準備する必要がある

の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・市の規定で月 1 回の訓練が義務付けられている。スタッフ向けの訓練、子ども参加型訓練、避難訓練、通報訓練など、バリエーションをもたせている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・スタッフミーティングにて、組織全体で理解を深めている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		1	3	・ない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		・インテークにて、保護者に確認し、対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		・スタッフ数が少ないため、打ち合わせで高等共有してはいるが、仕組みとしてのヒヤリハットの取り組みは今後の課題